



令和2年度要請訪問について

7月2日付け「南房総の風」第4号にて、要請訪問の活用についてお知らせして以来、たくさんの方の要請訪問のご依頼をいただきました。ありがとうございました。

本号では、実施いたしました要請訪問の内容についてお伝えします。

○要請訪問数 2月末現在（※は要請数のうち、資料のみ提供した件数）

1 小・中学校からの要請

単位（回）

	国語	社会	算・数	理科	音楽	図・美	体育	技・家	外国	生活	総合	道徳	特活	支援	生指	他		合計
小	24	6	30	5	8	7	5	1	6	4	0	32	1	133	2	22		286
中	24	26	22	26	21	10	22	19	33		0	6	0	18	2	25	(※1)	254
合計	48	32	52	31	29	17	27	20	39	4	0	38	1	151	4	47		540

2 関係機関からの要請

初任者研修	11	(※2)		
経験者研修(中堅研・専門研)	6			
総セ研修・子サポ研修	16	(※6)		
各地区一斉研修	1			
県教育委員会による研修(管外の教育課程)	1			
市町教育委員会による研修	62			
各地区校長会・教頭会・養護教諭会等による研修	3			
幼稚園等による研修等	15			
その他教育団体による研修	24			
合計	139			

管内の62校の小学校（全体の約54%）、44校の中学校（全体の約69%）から要請依頼をいただきました。



3 高等学校からの要請

要請訪問，特別支援学校，教育団体を含む	7
---------------------	---

合計	686
----	-----

小・中学校ともに、新学習指導要領の理念やそれに伴う学習評価の研修、授業改善を目指した授業研修に関わる要請が多かったことが今年度の傾向です。

また、特別支援教育関係では、幼稚園や小・中学校からの依頼に加えて、市町教育委員会を通して、認定こども園へ訪問するケースもありました。

年度後半は、中学校から多くの要請をいただきました。

まず、全体研修で新学習指導要領のポイントや学習評価の概要を研修し、その後、あらためて教科ごとに学習評価等の研修を実施する中学校がありました。新学習指導要領の内容やめざす授業、学習評価について理解を深める効果的な校内研修の在り方であると感じました。



【要請訪問依頼の主な内容と訪問後の感想】

○若手教員の「授業研究」

協議会后



思考を促す発問の工夫や子どもの実態に合った活動を計画していくことの大切さがわかりました。



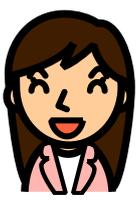
コロナ禍ではあるが、若い先生方に授業力を高めるための研修をさせてあげたいなあ。

校長先生

若年層教員

○校内研究の推進

訪問后



研究の方向性や新学習指導要領の方向性に沿った指導案の作り方がわかりました。



新学習指導要領の理念に沿った研究計画になっているかな？

指導案はこのような形式でいいのかな？

研究主任

○日々の授業づくり

訪問后



指導案検討、教材研究から一緒に考え、「主体的・対話的で深い学び」につながる授業づくりについて学ぶことができました。

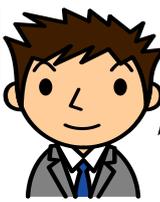


子どもが“主体的に学ぶ”授業って、どのようにつくっていったらいいの？

中堅教員

○学習評価の研修

訪問后



教科ごとに分科会形式で自分の担当教科について研修を行うことができ、学習評価の取り組み方がわかりました。さらに日頃の指導の悩みも聞いてもらって、充実した研修となりました。



中学校は来年度から新学習指導要領が全面実施だ。どのような準備をしたらいいのかな。特に評価が心配だ。

中学校教員



指導室では、来年度も、各市町や各学校のニーズにお応えできるよう、先生方と一緒に「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善や教育現場の諸課題の解決について考えていく訪問を実施していきたいと考えています。

来年度は、中学校でも新学習指導要領が全面実施となります。コロナの状況も心配ですが、先生方のお役に立ちたいと思っています。

来年度もたくさんのご依頼をお待ちしております。